

第5回 統合準備会

日時 令和元年12月23日 午後7時00分

場所 泉陽中学校 ランチルーム

内容

1 分野別の検討について

- ①教育分野
- ②通学分野
- ③PTA分野
- ④事務分野
- ⑤式典分野

2 次回 統合準備会について

※連絡事項 次回統合準備会開催日 2月18日 午後7時00分森中学校

進行:学校教育課長補佐

発言者	内 容
学校教育課長	<p>統合準備会第5回を迎えた。12月定例議会が終了し、統合準備にかかる補正予算が成立した。森中学校の教室ロッカー等の修繕、引っ越し費用、駐輪場の増設にかかる費用、学校用品購入費用、並びに、調理場の引っ越し費用を合計して11,776千円の補正予算を組んだ。内容については、検討会で検討をした必要な費用として予算を要求したものであるため報告する。</p> <p>本日の第5回の準備会の内容は大きく2点ある。5つの分野に分かれて検討した内容について確認をする。もう1点は次回6回の準備会についての内容となる。審議をお願いする。</p>
学校教育課長補佐	<p>最初に教育分野について委員長から説明をする。</p>
森中学校校長	<p>教育分野の内容について説明。グランドデザイン学校経営方針については、学校評価の時期になり課題が明確になってきた。来年度に向けて経営方針を考えている。それを受けて、グランドデザインについても修正を図っていく。</p> <p>教育課程については、いよいよ編成作業に取りかかるところ。1月8日に第1回教育課程編成会議を行う。それ以降両校の職員が集まって教育課程を作っていく。3月に完成する。</p> <p>生徒の活動は、ときわ祭ではじめて共同作業をスタートした。どちらの生徒たちも、緊張感を持っていて、一緒にいいものにしていこうと取り組んでいた。</p> <p>この後、2年生は修学旅行事前学習のまとめの時期となるため、共同で作業していく。入学説明会も実施される。三倉小、天方小、森小の6年生を対象の説明会を行う。2月の交流授業では、5・6時間目を実施し、部活動の見学を行う。2年生の進路講座では、高校の先生を招いて話を聞き、在校生に対して森中の説明会をする。1年生でも進路講座の予定をし、森中の説明をする。子供達は具体的に動き出している。4月に向けて顔を合わせながら、共に頑張っていく意識付けを4月に向けて整えていく。学校運営、町への要望については省略する。防災、学用品については町から説明する。</p>
学校教育課長	<p>学校防災計画について各学校の対応基準となる。統合により森中学校の暴風大雨洪水警報、特別警報発令時及び解除時の対応基準が変更となる。今まで中学校区ごとに対応が決まっていた。森中学校と泉陽中学校が統合し森中学校の区域が広がるため、森中学校については泉陽中学校の基準で対応していく。森小学校については現在の対応基準をそのまま変更しない。</p> <p>中学校購入用品一覧については、中学校が泉陽中学校から森中学校に変わることで購入が必要な用品の一覧となる。さらに野球部のユニフォームは、野球部員全員(現在森中学校生を含む)、陸上部ユニフォームは(泉陽中学校生)へ支給する。その他統合により必要となった学年の学習用品についても支給をする。</p> <p>保護者説明会後、中学校を通じて注文のとりまとめをする。</p>
学校教育課長補佐	<p>通学分野について委員長から説明をする。</p>

発言者	内 容
泉陽中学校長	通学分野についてこれまでの流れについて説明する。主に、統合によって通学距離が遠方になる生徒たちの足をどうしていくか皆様から意見が出た。町営バスの運行、秋葉バスとの接続、田能大久保中野地区の足をどうするかを検討、バス停の移動、横断歩道の設置、通学費の補助の見直し、学校の下校時間に合わせた、バスの運行についても検討した。
企画財政課長 企画係	バスのダイヤの資料について説明。 今後の予定は 1月に森町公共交通会議でダイヤ改正案についての協議承認をもらい、静岡運輸支局に変更登録申請を行い、3月中に時刻表を各戸配布をして、4月より新ダイヤにて運行開始する。田能一ノ瀬間の児童生徒の送迎については、地元で調整でき次第、予算付けをしていく。
学校教育課 課長補佐	通学費補助について説明。 前回の資料と変わっていない。内容は、バス利用者について現在の65%の補助から、全額補助とする。 バス通学以外の通学をする方については自転車通学を選択している生徒でも、体調、天候等の状況でバスを利用した場合に全額のバス利用料金を補助する。最寄りのバス停留所までの距離が遠い生徒に対する補助は、NPOやまゆり三倉の取り組みが実施予定であるため、廃止する。
学校教育課 課長補佐	PTA分野について委員長の教頭先生より説明をする。
森中学校教頭	PTA分野について説明。次年度の役員選出、活動のあり方の検討を実施してきた。令和2年度の特例として、例年より、副会長、地区委員を増員する。副会長を泉陽中校区から1名、地区委員を天方地区、三倉地区から各1名の選出する。 活動の内容は資源回収のあり方、あいさつ運動の回数については次年度決めていく。 泉陽中のPTA 財産について、森中に引き継ぐ。お金に関わるものは残金がないように泉陽中で使用し、残金があれば森中学校へ引き継ぐ。
学校教育課 課長補佐	事務分野について委員長から説明をする。
泉陽中学校教頭	事務分野について説明。8月に移動備品を確認。今後の予定、12月25日に今年度使用しない備品を森中学校へ移動。3月25日に業者にお問い合わせするものも含め、引っ越しを行い、最終的には3月30日に運び出す。移動日品一覧の一部を掲載した。
学校教育課 課長補佐	式典分野について泉陽中学校教諭から説明をする。
泉陽中学校教諭	式典分野内容について説明。閉校誌作成について校内打ち合わせを行った。合計96ページを予定しているが、ページ数が少し増えそう。 閉校式についての内容を説明。
天方小PTA会長	準備会の内容について保護者説明会を開くと言っていたが、12月26日に開く説明会か。また、対象者は泉陽中学校の保護者に対して行うのか。
学校教育課長	そのとおり。泉陽中学校の保護者、三倉小学校・天方小学校の保護者(6年生)が対象者となる。
天方小PTA会長	通学費の補助について 令和2年4月1日に生まれたものに適用するとあるが、以降については補助はなくなるのか。
学校教育課 課長補佐	令和2年4月1日以降に生まれた方は、対象ではない。今後、学校再編、交通事情によって見直しを行うため、状況が変われば内容変更を行う。
天方小PTA	令和2年4月1日以降に生まれた方は、対象ではない。何らかの補助がつづくのか、はっきりしない。
学校教育課 課長補佐	統合の影響を受けた方を対象にしている。
天方地区町内会長	その他の通学生徒の補助について変更後は補助されなくなるのか
学校教育課 課長補佐	これまでの距離に対する補助は無くなるが、バスに乗る補助を通学時はいつでも受けられるように変更した。町としては、より安全と思われる公共交通を利用した通学をしていただきたい。

発言者	内 容
森地区町内会長	防災の内容で、小学校と中学校と対応が分かると考えて良いか。小中学校に兄弟がいる家庭は小学校と中学校で対応が違ってくると考えて良いか。
学校教育課 課長補佐	来年度小学校の統合が予定されている。そのため、1年間に対応が小中学校で分かれてしまおうと考えている。小学校と中学校の対応が煩雑になるが、1年間に対応が分かれてしまう。
三倉小PTA	防災の内容で、通学路の安全を確認後、下校させるとあるが、誰が安全確認するのか。
学校教育課 課長補佐	学校の先生による確認をする。
三倉小PTA	防災の内容で(3)終業時刻以降も、警報または特別警報が解除されない場合、地区責任者に引き渡しと書いてあるが、どのような状況で考えているのか。
泉陽中学校長	(3)学校で授業をやっている間に警報特別警報が発令されて、解除されない状況。学校待機をする。状況によっては、保護者が迎えに来られれば、引き渡し。
三倉小PTA	地区責任者へ引き渡しを安易に考えないようによく考えて対応出来るよう明確に表記した方が良い。東日本大震災の際に下校途中に亡くなった裁判で、学校や町が負けてしまった。 同報無線も大規模停電時は使えなくなる状況も考えると、連絡手段等検討していただいた方が良いのではないかと。
	閉校式については周知するのか。
泉陽中学校教諭	閉校式について、連絡については学校だより等で回覧する。
天方小PTA	その他の通学生徒の補助について令和2年生まれ以降はなくなると考えればいいのか。今ある補助がなくなる。今対象となっている補助がなくなる。となると、PTAで持ち帰って保護者へ説明できない。予算として一度切るが、継続して検討する旨説明があれば違った考え方が出来ると思う。
学校教育課長	今回の学校統合のための補助の見直しであるため、あえて明記している。しかしながら、期間の途中で、状況等の変化により、見直しが必要になることが考えられている。また、森町全体での通学の状況により再度どのような制度にしていくべきかを考えなければならないと考えている。再度持ち帰りわかりやすい表現で説明できるようにする。
天方小PTA	保護者説明会で通学費補助を説明しても、16年後の補助が終わることに対して現実的ではない。 令和2年4月1日までに生まれた者に適用すると記載しなくても良いのではないかと。 小学校の検討を今後進める場合においても同じように期限を決めていくこととなると、期限を明確に記載することは必要ないのではないかと。見直しを行うと記載があれば良いのではないかと。
森中校長	令和2年4月1日までに生まれた者に適用するの部分がいらぬのではないかと。2行目の記載で、充分内容の説明になっている。予算の関係、状況の変化で、補助の見直しがあり補助自体が無くなってしまふことだってある。先のことはわからないが、新たな制度のスタートは令和2年度の記載があれば十分でないかと。
学校教育課 課長補佐	持って帰り記載方法について検討する。
学校教育課 課長補佐	次の(2)次回統合準備会について説明をする。
学校教育課長	第6回は三倉小学校天方小学校森小学校の統合に向けてと副題を付けている。中学校の統合準備会から小学校の統合準備会へ引き継いで行きたいと考えている。検討経過・結果を踏まえ、スムーズな小学校統合へ向けて具体的な検討を行いたいため、参加者については次期役員候補者に出席してほしい。小学校の統合準備会の組織について説明。

発言者	内 容
学校教育課 課長補佐	全体を通して質問はあるか。
学校教育課長	質問の回答は文書にて送付したいと考えている。
学校教育課 課長補佐	次回は2月18日に森中学校ランチルームにて開催する。
泉陽中PTA	次回の統合準備会の内容はどのような内容になるのか。
学校教育課長	小学校の統合準備会に向けての準備、目的、課題の意見を出していきたい。
学校教育課 課長補佐	以上で統合準備会を終了する。